

## 平成30年度士別市総合教育会議（第2回） 会議録

- 1 日 時 平成31年1月17日（木） 午後3時00分～4時10分
- 2 場 所 士別市役所2階 来賓室
- 3 出席者 **【構成員】** 牧野市長、中峰教育長、馬場委員、加藤委員  
**【事務局】**
  - ・教育委員会 鴻野生涯学習部長、漢生涯学習部次長  
三上合宿の里推進室長、濱田合宿の里推進室統括監  
須藤学校教育課長、大留学校教育課参事
  - ・総務部 中館総務部長、青木総務課長
- 4 報 道 3名
- 5 次 第
  - 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 協議・説明事項
    - ・ 士別市の教育における現状と課題について
    - ・ 平成31年度士別市教育関連予算について
    - ・ 行政組織機構改革の概要について
  - 4 その他
  - 5 閉会

---

### 1 開会

#### ●鴻野生涯学習部長

定刻なので開会する。

はじめに牧野市長からご挨拶をいただき、その後、議長として進行願う。

### 2 あいさつ

#### ●牧野市長

あいさつ骨子

- ・新年になってから平穏な天気が続き、市民生活には好ましいが、自動車等試験研究には雪不足。
  - ・今月13日には、内容の濃い素敵な成人式を開催できた。
  - ・昨年は教育委員が台湾を訪問し交流を深めた。2020年のホストタウンとして文化や教育の交流前進に期待。
  - ・西小学校は閉校式も終了し、3月末で統合となる。児童には元気で新しい学び舎に通ってもらいたい。
  - ・中学校の部活動については、拠点校方式で試行することとなった。しっかりとした方針ができればと思う。
- それでは議案に基づき事務局から説明を求める。

### 3 協議・説明事項

#### (1) 士別市の教育における現状と課題について

##### ●中峰教育長

第1回目の総合教育会議で話した中から4つに分けて説明する。

(参考資料について説明)

##### ●牧野市長

教育長から現状と課題について説明いただいた。委員から何かご意見は。

##### ●加藤委員

ICTの推進に関して、学校には無線LANが整備されていないためタブレット等が使用できない。ペーパーレス化を図り、資料作成の手間を軽減するためLANの整備が今後の課題である。

##### ●鴻野部長

新年度予算に関する詳しい説明は後程行うが、ICTの環境整備は3年間の年次計画で整備を検討したい。光回線が開通していない地域もあり、まずは環境整備を。教職員の働き方改革推進のために校務支援システムの導入も有効。

##### ●牧野市長

残念ながら、本日欠席の委員からは別の機会に意見交換を行いたい。

#### (2) 行政組織機構改革の概要について

##### ●牧野市長

本年4月に実施する行政組織機構改革について説明する。

2020年5月に新庁舎が完成する予定だが、それに先がけ機構改革を実施するもので、庁議や議会の場で説明し、報道を通じて市民にお知らせしている。

本市では平成8年からスタッフ制を導入したが、昨年4月からは組織のスリム化と意思決定の迅速化を図るため係長制に変更した。

昨年の決算審査では、係長が中心となって発言し、たいへん頼もしく思った。

私が掲げている「市民が参加、市民が主役のまちづくり」の実現のため機能的な組織機構にしたい。(資料2について説明)

●加藤委員

まちづくり塾の塾生が市のイベントなどに積極的に関わっている。

やる気のある人材が育ってきていると感じており、今後更に推進してもらいたい。

●牧野市長

ひつじ祭りで独自ブースを出展するなど頑張っている。

卒塾生との交流を通じ、更に意欲をもって勉強してほしい。

●加藤委員

意欲は非常に高い。どうすればいいかわからない場合もあるが、アプローチすればきちんと応えてくれる。

●牧野市長

まちづくり塾の事業は、企画課から中央公民館に所管が変わった。公民館は各種団体とつながりが多いため、意見交換を行いながら事業を進めてもらいたい。

ここで退席させていただくので、ここからは教育長が進行を。

(3) 平成31年度士別市教育関連予算について

●中峰教育長

それでは士別市教育関連予算について事務局から説明を求める。

●鴻野部長

教育委員会として重点項目をピックアップし説明する。(資料1について説明)

●中峰教育長

全ての事業について予算措置できる財政状況ではない。厳しい状況である。

財政状況について総務部長から説明を。

●中館部長

現在、要求のあった予算を査定中。来月中旬には発表できる予定。市の総合計画を基に、しっかり着実に実行していく。環境センターや庁舎など大型事業の返済を考えなければならない。今後は、貯金を取り崩しながら4年後を見通せるよう、公共施設の再編や複合化によって効率化を検討していく。また、働き方改革の一環として超勤の縮減をめざし、人口減少社会における行政サービスについても検討が必要。厳しい状況だが、踏ん張りどころであり、皆様にもご理解いただきたい。

#### ●馬場委員

説明を聞くと簡単ではないと感じる。ICTの話題がずいぶん出ていたが、これからの時代は授業の一環として使用するため、使えないことは問題になる。お金はかかるが、分割するなどして整備を進めなければならない。

ウィズに通級する子どもが増えて、現在の施設が手狭になっている。ウィズの卒業生が東校に普通に通えるようになっていることもあり、今後もウィズへのサポートが重要である。

山村研修施設の環境整備としてエアコンの設置を検討している。「合宿の聖地」を目指すには利用者に快適な環境を提供すべき。

#### ●加藤委員

学校教育アドバイザーの配置が必要。教師が仕事に追われ、子どもと向き合う時間がとれない例もある。教師が本来の業務に専念できるようサポートしなければならない。

特別支援教育については様々な種類に細分化されており、実際に対象となるケースが出てきてから対応したのでは遅い場合がある。ウィズに通級する子どもが増えていることも問題だが、ウィズが拠り処になっているとも感じている。

#### ●中峰教育長

様々なご意見をいただいたが、現在のところ、各担当から要求された内容を精査している段階。今後、整理されて新年度予算が編成される。

#### 4 その他

特になし。

#### ●中峰教育長

今後、士別市教育大綱を基に、31年度の教育行政執行方針を策定することとなるが、執行方針の内容やその必要性、現場の状況などについて市長にも理解いただき、具体的な内容は教育委員会会議で協議する。

【 会 議 終 了 】